

(様式2)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立( 浅間小 ) 学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

やさしさいっぱい活動を充実していけるような話し合いをする。  
タブレット端末の活用を進めるための工夫を話し合う。  
ボランティア登録を増やし学校のニーズに対応する。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・校長より学校運営基本方針について、昨年度からの変更点も含めて委員への十分な説明があり、方針策定の理解をした上で熟議できた。
- ・学校教育目標である「自分の良さが輝く学校」についてのプラン「やさしさいっぱい」「やる気いっぱい」「元気いっぱい」の説明をうけ、委員間での建設的な意見交換などがあり、理解が深まった。
- ・いじめ防止基本方針についての説明を聞き、学校がいじめに対して厳しい姿勢で向き合っていることを知った。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・「やる気いっぱいプラン」のICTの活用については、子供たち個々に合わせて理解を深めることや先生の授業準備の負担を軽減することが出来ていることが分かった。「やさしさいっぱいプラン」では、やさしさいっぱい活動において、子どもたちの心を育んだり、コミュニケーション能力を向上させたりしており、いじめ防止にもつながっていることを理解した。「元気いっぱいプラン」では、子供たちが健康的な生活を送れるように食育指導が大切なことが分かった。教育活動の充実につながる学校支援活動について熟議を進めることができた。
- ・教育目標とのつながりや学校・家庭・地域の役割分担を明確にし、学校支援活動について見直すことができた。その結果、昨年度より教育活動への支援の幅が広がった。

### <評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・協議結果は学校HPや学校だよりで、支援活動についてはコミュニティ・スクールだよりで地域に発信することができた。
- ・「浅間つばめ応援団」の活動認知度が昨年度より上がっている。そのため、地域や家庭での理解度が増し、支援人数が増え、支援手段やツールが増えてきていると感じる。

### <評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- ・今年もグランドデザインにおける学校運営基本方針に関して熟議が出来たので、来年度も目標を皆で共有して熟議していくようにしたい。
- ・今年度の振り返りを十分に行い、取り組みが弱かった点の補足、「つばめ応援団」の協力体制の充実について考えていく。学校や地域の負担になりすぎないようにしながらも、子供たちのために浅間小ならではの輪を広げていきたい。また、今年度活発になった学習支援活動を来年度も継続し、学校運営についてより理解を深め、地域とともにある学校とするため、協議会として発信する方策について考えたい。
- ・今年度の熟議で、子供たちにとっても教員にとっても、タブレット端末は大変便利で教育効果があると感じたので、来年度は、タブレット端末の可能性を広げられるように考えていきたい。